

連帯はばたき

連帯ユニオン
関西ゼネラル支部
宣 伝 部

第49号
2022年9月

明るく・楽しく・元気に活動し、産業別労働運動を確立しよう！

9.11 第2回支部委員会 春闘総括、秋季年末闘争方針を確認

今回初めて Zoom を用いて機関会議を開催しました。招待メール送信が遅れた、Zoom の扱いに慣れてないなど多少の混乱があり、課題を残しながらも支部委員会を成功裏に終わりました。

春闘を闘ったからこそ

見えてきた分会の課題が

今春闘の成果として賃上げ一時金のほか、K 梱包分会から退職金 2 倍実現、S 化学分会から定年再雇用賃金裁判で 7 割水準確保、T 興業労組から失効年休積立制度の創設、K 林業分会から月給制賃金の実現、T 福祉分会から 65 歳以降の賃金カット廃止という成果とともに、新たな分会の課題も報告されました。また、9 月 1 日公然化した E 分会から、来春闘への期待が語られました。

書記長は、公然化している 64 分会のうち今春闘を闘ったのは 17 分会に過ぎず、職場活動に取り組んでいない分会に奮起を促しました。また、物価の値上げが頻繁で賃上げ分を上回り生活は苦しくなっている、10 月の最低賃金の引き上げを契機に全分会で秋闘に取り組み来春闘につなげようと呼びかけました。川口分会の代議員は、一人分会の組合員に「職場活動の前提は何も特別なものではなく、常日頃から同僚とコミュニケーションをとり信頼関係を作ること、『あなたのことはよく分かる』と組合の主張が素直に聞ける同僚を一人でも多く作ること」と、職場で組合員の存在感を大きくするよう激を飛ばしました。

また、しばしばマスコミに登場する和歌山の高校、南陵学園分会から、乱脈経営で 3 か月にわたる給料の遅配や生徒寮のガスを止められるなど問題が噴出している。理事長に保護者と教職員に説明会を開催するよう求めたが、そのことに絡んで懲戒解雇された。これから裁判も始まり、職場復帰して学校再建のために頑張りたい、と決意表明がありました。

最後に、執行委員長の力強い団結ガンバローで支部委員会を終わりました。

(副委員長)



秋季年末闘争に向けて団結ガンバロー

参加記

第39回連帯労組中央本部定期大会



窓から富士山を望める富士市ロゼシアターの会議室で、2022年9月11日から12日の2日間に跨り、連帯ユニオンの中央大会が開催されました。前回28回大会で世代交代が話題になり、中央執行委員会で、その試みの一環としてそれぞれの地方本部・支部に所属する青年女性部が会する特別執行委員会が企画されました。我がゼネラル支部からは書記次長が参加し、連帯ユニオン40周年記念事業等についてリモート形式で会議が開かれています。これまでの連帯ユニオンの歴史を踏まえつつ、そこから新たな地平を切り開く方針を模索し、さまざまなアイデアを持ち寄って議論が交わされています。今回の大会に、メンバーの関東支部H氏、近畿トラック支部M氏、関西生コン支部N氏と女性組合員M・S氏らも大会代議員として参加していて、これまでリモートで会議していたメンバーが顔合わせすることができました。今回の定期大会で近畿トラック支部M氏は、大会議長を務めました。

大会特別ゲストとして、実際にあった引っ越し業者と労働組合の争議をモデルにした映画『アリ地獄天国』等を過去に撮影した映画監督の土屋トカチ氏が招かれ、氏の撮影したドキュメンタリー『ここから』が上映されました。この作品は、組合員らへのインタビュー等を通じて関西生コン支部の実像と弾圧事件の経過を描き出したものです。生コン業界で仕事と組合活動が続ける生コン運転手の女性組合員の足跡や今回の弾圧で無罪判決を勝ち取った組合員の苦闘、組合員ひとり一人が、さまざまな境遇にあって組合に加入し、どのように闘い、何を勝ち取り、どのような苦悩があったか、関西生コン支部について、非常に地に足の着いた実像を描いたものでした。この作品で中心的に紹介された生コン運転手の女性組合員は、今回はじめて中央執行委員に選出され、唯一の女性中央執行委員となりました。

連帯労組を取り巻く状況は、順風と言える状況ではありませんが、それは停滞を意味するものではありません。逆風にも決してめげることなく、連帯ユニオンは新たなことに挑戦を続ける意志が示された中央本部定期大会でした。

(書記次長)

最低賃金がアップします

大阪は 1,023 円 (+31 円)

最低賃金の全国加重平均は、現在 930 円ですが、2022 年 10 月上旬から 31 円アップし 961 円となります。東京は 1,072 円、神奈川県は 1,071 円、大阪は 1,023 円で全国 3 位です。

府 県	現 行	新金額 (前年比)	発効日
滋 賀	896	927 (+31)	10 月 6 日
京 都	937	968 (+31)	10 月 9 日
大 阪	992	1,023 (+31)	10 月 1 日
兵 庫	928	960 (+32)	10 月 1 日
奈 良	866	896 (+30)	10 月 1 日
和歌山	859	889 (+30)	10 月 1 日

月給制の最低賃金をチェック

あなたの賃金が月給制の場合、毎月の賃金が最低賃金に到達しているかをチェックしましょう。最低賃金は時給ですから、以下の手順で時給に換算して最低賃金チェックしてください。

① 月給から除外する※手当を除く

※家族手当、通勤手当、住宅手当、臨時手当など

② ①を 1 カ月平均所定労働時間で割る

③ 地域別最低賃金と比較する

大阪の場合・・・1 カ月平均所定労働時間が 173 時間ならば $1,023 \text{ 円} \times 173 \text{ 時間} = 176,979 \text{ 円}$ が月給の最低ラインとなります。

賃金がこの表の最低賃金を下回っていた場合は最低賃金違反です、組合に相談して下さい。

全国どこでもだれでも 1 日 8 時間はたらけば普通に暮らせる賃金を！

10.1 最賃キャンペーン・・・全国どこでも最低賃金 1,500 円！

厚生労働省は全国の都道府県を最低賃金額が高い方から順に 4 つに区分けし、ランキング上位には首都圏が多く、下位には東北や山陰、四国、九州地方が多く、全国最低は沖縄県や高知県などの時給 853 円です。過去最大の引上げ額といっても、現在の最低賃金制度は、企業の「支払い能力」を重視してつくられています。そのことは以前から問題とされ、経済の都市部への一極集中と地方の疲弊を理由として、都道府県別の最賃格差をさらに拡大する背景ともなっています。しかし地下鉄やバスなど公共交通機関が発達している首都圏と違って、地方で暮らすには自動車は必要ですし、車一台所有すると、車価格と保険料、ガソリン代、駐車場代、税金、整備費用がかかります。地方では、家賃が安い、多少物価が安いといっても、自動車の維持費等を鑑みて生活費を試算すると、最低生計費自体はそんなに首都圏と地方で変わらなくなります。

最低生計費調査によれば、ふつうの暮らしに必要な費用は、税・社会保険料込みで 22 万～24 万（月額）です。それは全国各地で大差はありません。健康で文化的な普通の生活を営むには、時間給で言えば最低 1,500 円が必要となります。現在の最低賃金水準では、労働者の日々の生計費がまかなえません。

全国の労働組合や市民団体と共闘し、「全国一律の最低賃金 1500 円」の声を上げ、労働者の豊かな生活を勝ち取りましょう。組合は、コミュニティユニオン関西ネットワークの運動に参加し、最賃アップキャンペーンに取り組みます。キャンペーンは、10 月 1 日土曜日 12 時から準備、その後 J R 環状線の天王寺駅、京橋駅、天満駅とビラ配布をリレーします。天満橋事務所 11 時 30 分に集合してください。

(執行委員 A)

福島原発事故の教訓を葬り去るな 新たな原発推進策動を阻止しよう

岸田首相は、8月24日、官邸で開いたGX(グリーン・トランスフォーメーション)実行会議で、従来の原子力発電への依存の低減、安全を最優先するとしていた原子力発電の政府姿勢の大転換を図ろうとしています。

(1) 新たに7基を来年夏・冬以降に再稼働

福島原発事故以降、再稼働した原発は10基、審査に合格したがまだ再稼働していない原発7基を来年夏・冬以降に再稼働させるといいます。

しかし、これら7基は簡単に動かせる状況にはありません。安全対策工事の未完、テロ対策施設工事の未完、侵入者を検知する設備の故障を放置する等の不備で運転禁止(柏崎刈羽6・7号)、避難計画の策定未完(東海第二原発)等の状態です。柏崎刈羽6・7号と東海第二原発は地元の了解も得られていません。経産相は「国が前面に立って」と繰り返し、7基の再稼働について今年秋までに対応を示すとしています。

(2) 60年超えも視野に入れた寿命延長、審査等の停止期間を除外して運転期間を延長

原発の寿命は40年ですが、特例がいつの間にか通例となり、60年寿命延長を申請した4原発(美浜3、高浜1・2、東海第二)は全て許可されています。さらに九州電力は、川内原発でも60年運転を狙っています。

しかし今回は、60年超えも視野に入れて、老朽原発の運転を恒常化させようとしています。具体的には、審査期間が長引いているとして、審査や工事等の停止期間を除外して運転期間を延長するのです。たださえ危険な老朽炉は、圧力容器の取替もできず、電気ケーブルの老劣化の状況は把握できず、美浜3号で頻発している配管や弁からの漏えい等の危険が増します。

(3) 新增設・リプレース(建て替え)の推進検討へ

既存原発の「最大限の活用」だけでなく、「持続的活用」のために新型炉の新增設・リプレースの検討を始めました。

この背景には、既存原発だけでは、先行き原発は廃炉に追い込まれてしまうという現実と危機感があります。40年寿命の場合は2030年時点で約13基に、すべての原発の寿命を60年としても2040年時点では20基程になります。原子力産業界等は、つなぎとしての寿命延長だけでは、「持続的活用」には程遠いとの危機感があるのです。

福島原発の廃炉も進まない、核のゴミの処分も決まらない、原発推進などありえない

東京電力福島第一原発の事故の終息、廃炉への道筋が見通せない中、安全性を軽視した原子力再稼働推進、次世代原発開発検討、原発運転期間延長の議論を進めるべきではない。原発は止まっても圧力容器やコンクリートなどで劣化が進みます。六ヶ所再処理の計画は、延期につぐ延期。動いたところで危険な核のゴミが増えるだけでなんの解決にもなりません。日本は、地震大国であり火山大国です。東日本大震災が風化しようとしています。同じ過ちを絶対にしてはなりません。原発は安全でクリーンなエネルギーで無いこと再確認すべきです。避難者がいるなかでなぜ推進するのか、早急に中止すべきです。

(執行委員長)



安倍元首相の国葬反対！大阪集会・デモ

日時 9月19日(月)14時～

場所 PLP会館

おおさか総がかり「国葬」反対集会&デモ

日時 9月26日(月)16:30～

場所 中之島公園・女神像

安倍国葬やめろ！デモ

日時 9月27日(火) 13:30～

場所 中之島・水上ステージ

何でもありか？…国葬の根拠は閣議決定、憲法改正・非常事態条項の先取りです

安倍は、大企業・富裕層を優遇し、福祉を切り捨てて貧困と格差を深刻化させ、戦争法・共謀罪・秘密保護法の強行と労働組合弾圧で戦争国家づくりを推し進め、「モリ・カケ・桜」政治を私物化し、自らの疑惑を開き直り国会で118回のウソ答弁を繰り返し、非正規職の増大、実質賃金の低下…私たち労働者にとって、安倍を国葬で送る理由はありません。

(いずれの集会&デモも連帯旗を掲げています、旗の下にお集まりください)

第2回ハラスメント学習会

講師 栗本 敦子さん(Facilitator's Labo〈えふらぼ〉 代表)

日時 10月8日(土) 14時～16時

場所 学働館4F

フリーのファシリテーターとして、行政・企業の研修や市民講座、高校や大学で講師を務めている栗本さん。ファシリテーターとは進行役で、参加者に発言を促し、流れをまとめていく人のことです。

今回のテーマは、労働組合内での女性差別やハラスメントです。

ジェンダー、簡潔にいうと「社会的・文化的につくられる性別における関係性」という意味合いになります。つまり、生物学的に定められる性に対して、社会的または文化的につくられる性別。社会や文化がつくりだした男性・女性という性別における、互いの関係性や役割という意味合いで考えるとわかりやすいかもしれません。まずは組合内に目を向けてみましょう。

「おしゃべり喫茶」

日時 9月17日(土) 14時～16時

場所 天満橋事務所

日頃、職場に対して思っていることを気楽に喋りにきませんか？職場の問題はすぐ解決するというものではありませんが、組合員が顔を合わせて交流することでパワーを充填する機会にしましょう！

